

# 命を救う最後の砦

—東三河の基幹病院として—

# 豊橋市民病院

問合せ 市民病院管理課 ☎33・6111 <http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp/>

豊橋市民病院は、東三河の中心的な医療機関である基幹病院として救急医療や高度専門医療を重点的に担い、地域の医療機関との役割分担・相互連携を推進しています。今回はその中から、「地域がん診療連携拠点病院」の役割と救命救急センターの「トリアージ（緊急度判定）」について紹介します。みなさんが基幹病院としての役割を理解し、適切な受診をすることで、地域医療を守っていきましょう。

## 「地域がん診療連携拠点病院」の役割

### 「地域がん診療連携拠点病院」とは

国は、全国どこでも質の高いがん医療を受けられるよう、平成13年8月に「地域がん診療拠点病院の整備に関する指針」を出しました。これにより、当院は、平成15年8月に「地域がん診療連携拠点病院（以下「拠点病院」）」の指定を受けました。平成24年4月1日現在、県内の「拠点病院」は23施設ありますが、東三河では当院のみとなっています。

- この拠点病院に求められる主な役割は、
- (1) 手術、抗がん剤を使用した化学療法、放射線による治療またはそれらを組み合わせた総合的ながん治療の実施
  - (2) がんを原因とする痛みや不安を和らげる緩和ケアの実施
  - (3) 地域の医療機関との連携・協力体制を形作るため、共同診療計画書（※1）を作成し治療に当たる
  - (4) セカンド・オピニオン（※2）を行う体制ができています

- (5) 患者からの医療に対する相談業務に当たるための相談支援センターを設置している

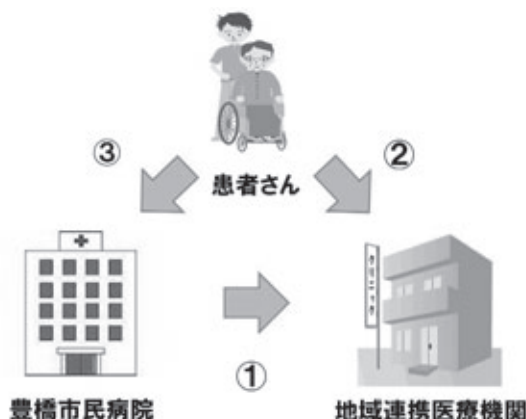
### 地域の医療機関との連携・協力体制

当院では、急性期の治療が終了し症状が安定している、もしくは安定することが見込まれる患者さんには、当院があらかじめ連携している地域の医療機関と共同で治療に当たっています（下図参照）。

この地域連携医療機関（市外含む）は、平成22年9月のスタート時は48医療機関でしたが、当院の拠点病院としての役割をご理解いただくことにより、平成24年3月時点では、76医療機関に増えました。これにより、患者さんは、自宅により近い地域連携医療機関を受診することができ、通院などの負担軽減につながっています。

### 退院後の受診の流れ

- ① 患者さんの検査内容などの情報を連絡
- ② 普段は、地域連携医療機関に通院（共同診療計画書を持参）
- ③ 当院へ節目の通院（共同診療計画書を持参）



※1 共同診療計画書とは、当院と地域連携医療機関が患者情報を共有するためのもの

※2 セカンド・オピニオンとは、治療を受けている主治医以外の医師に、診断などの意見を求めること



豊橋市民病院（正面）

## 適確、迅速な救命救急医療を行うために

### 緊急度判定支援システムによる 院内トリアージ

当院は東三河唯一の救命救急センターを有する病院として、日々多くの患者さんの診療に当たっています。救命救急センターには常に大勢の患者さんが来院するため、待ち時間が大変長くなつており、時には4時間を超えることもあります。そんな待合室で行われるのが「トリアージ」です。トリアージとは「大勢の患者さんを重症度と緊急性によって分別し、優先的に診療する必要のある患者さんを決定すること」を言います。このため、先に並んでいた軽症の患者さんより後から来た重症の患者さんを優先する場合があります。

### 適切な医療機関の選択を

当院の救命救急センターは主に重症な患者さんを対象としているため、トリアージの結果により受診の順番が変更され、待ち時間が長くなってしまうことがあります。このため、軽症な患者さんは近所の診療所を利用していただくか、診療所が開いてない場合であれば、休日夜間急病診療所などの利用ができるだけ心がけてください。

日常生活では、かかりつけ医を持ち、いざという時に市民病院にかかるようにするなど、適切な医療機関の選択をすることで、地域医療をみなさんの力で守っていきましょう。



トリアージ判定を行っているようす（上）  
緊急度判定支援システムの画面（左）



## 市民のみなさんの協力により、 "命を救う最後の砦"を守っていきましょう

豊橋市民病院院長 岡村正造

東三河の基幹病院である豊橋市民病院の役割として、特に私たちが全力で取り組んでいる「地域がん診療連携拠点病院」の役割と救命救急センターの「トリアージ」について紹介しました。このほかにも、基幹病院として求められる役割は多く、その責務を果たすため尽力しています。また、職員は「豊橋市民病院へ行けば何とかしてもらえる」「豊橋市民病院へ行って満足した」と言ってもらえる病院であり続けるよう日夜努力しています。今後も、「命を救う最後の砦」となるよう職員一同頑張りますので、市民のみなさんのご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

